

歯科材料 05 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科合着用ガラスポリアルケノエート系レジンセメント (70841002)
(歯面処理材(70859000)、歯科用練成器具(70682000))

オルソリー グラスボンド

再使用禁止：オルソリー ミキシングチップSL *

【禁忌・禁止】

- ・ガラスアイオノマーセメント、メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマー、ポリアクリル酸に対して発疹、皮膚炎などの過敏症状の既往歴のある患者には使用しないこと。
- ・再使用禁止 オルソリー ミキシングチップSL *
- ・併用禁忌：相互作用の項参照。

【形状・構造及び原理等】

形状・構造

構成品		性状	容器	組成
ガラスボンドカートリッジ	Aペースト	ペースト	カートリッジ	フルオロアルミノシリケートガラス、メタクリル酸エステル
	Bペースト	ペースト	カートリッジ	ポリアクリル酸、二酸化ケイ素、蒸留水
ジェルコンディショナー		ジェル	シリンジ	ポリアクリル酸、蒸留水、二酸化ケイ素

オルソリー ミキシングチップSL *
材質：ポリプロピレン、ポリオキシメチレン

付属品
ジェルコンディショナー ブラシチップ

原理 *

歯面表面を、ジェルコンディショナーの主成分であるポリアクリル酸により処理する。ガラスボンドカートリッジを構成するAペーストとBペーストは、オルソリー ミキシングチップSL内のミキシングエレメント (攪拌羽) により練和され、フルオロアルミノシリケートガラスとポリカルボン酸水溶液との酸-塩基反応、及びメタクリレート系モノマーの重合反応により硬化する。

特性

ガラスボンドカートリッジ

項目	品目仕様	参考値
初期硬化時間	5分00秒以上	10分00秒
光硬化深度	1mm以上	1.6mm

(JIS T6609-2による)

【使用目的又は効果】

歯科矯正用装置 (メタルまたはセラミックス製ブラケット) の口腔内硬組織への合着に用いる。

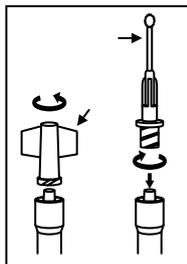
【使用目的又は効果に関連する使用上の注意】

- 1) サホライドや知覚過敏抑制材を塗布した歯面への使用では、歯質と十分な接着力が得られない場合があるので、留意して使用すること。

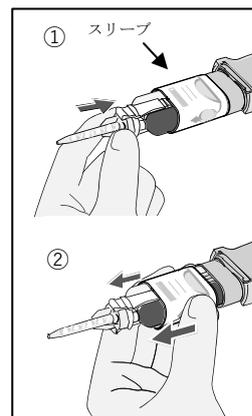
【使用方法等】

前準備

- ① ジェルコンディショナーのシリンジ本体を上に向け、ウイングキャップを反時計回りに回しながら外します。
- ② ジェルコンディショナー ブラシチップを時計回りに回しながら装着します。



- 1) 歯面清掃：細かい粒子の研磨ペーストをブラシ又はカップにとり、低速のエンジンで接着歯面を清掃します。
- 2) 歯面の処理：接着部位にジェルコンディショナーを塗布し、10秒後に水洗・乾燥を行います。
- 3) CDディスペンサーにガラスボンドカートリッジを装着します。キャップ取り外し後、両シリンジからペーストを少量押し出してすり切り、両シリンジのペースト位置を合わせます。
- 4) オルソリー ミキシングチップSLをカートリッジに最後まで押し込み(右図①)、スリーブの側面を持ち、前方にスライドさせて(右図②)オルソリー ミキシングチップSLを装着します。CDディスペンサーのストッパーをレバー根元に設置してからレバーをゆっくり押し、オルソリー ミキシングチップSL内にペーストを通して練和します。練和されたセメントペーストを歯科矯正用装置 (ブラケットなど) に塗布します。操作時間は練和開始時より約5分00秒です。*



- 5) ブラケットボンディング
 - ① ブラケットの接着面に、練和されたセメントペーストを塗ります。
 - ② 歯面のボンディング部位に圧着します。
 - ③ 余剰セメント除去：過剰にはみ出た余剰セメントは、スクレーパーやエクスプローラーで柔らかいうちに除去します。
 - ④ 光重合：可視光線照射器により照射し、重合します。ブラケットボンディングの場合は、ブラケットの左右より照射を行います。コービー※1を使用する場合は各20秒間の照射、G-ライト※2を使用する場合は各10秒間の照射、フリッポ※3を使用する場合は各6秒間の照射を行います。光照射だけでは硬化が不十分な部位があるため、ワイヤーの装着は照射後5分以降に行います。

※1 コービー：ハロゲンランプを採用した歯科用可視光線照射器

※2 G-ライト：LEDを採用した歯科用可視光線照射器、ただし、LED採用他社製歯科用可視光線照射器を使用する場合は、光照射能力が異なる場合があることから、使用する光照射器の照射能力を確認の上使用します。

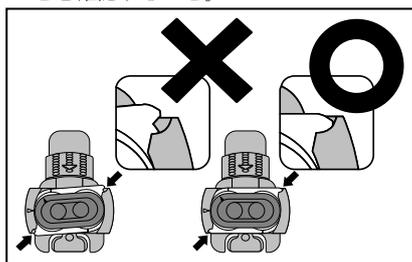
※3 フリッポ：キセノンランプを採用した歯科用可視光線照射器

- 6) ディボンディング：撤去は、通法に従い行います。歯面に残るセメントに関しては、超音波スクレーパーやポイントを用いて除去します。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) 本材の使用に際しては、歯面処理材 (ジェルコンディショナー) を必ず使用すること。
- 2) ジェルコンディショナー ブラシチップは、オートクレーブ・ケミクレーブにかけられないので注意すること。
- 3) ジェルコンディショナー ブラシチップ装着時は、ジェルコンディショナーがシリンジとのかみ合部に付着していると、使用時にジェルコンディショナー ブラシチップが抜け落ちることがあるので、ジェルコンディショナーの付着がないことを確認すること。

- 4) ジェルコンディショナーは、使用する前に必ず口腔内に於いて、ジェルコンディショナー ブラシチップの緩みがないことを確認すること。[ブラシチップの抜け落ち防止のため]
- 5) ジェルコンディショナー ブラシチップを確実にシリンジに装着したことを確認し、押し出し操作へ移行すること。
- 6) ジェルコンディショナー ブラシチップを使用する際は、患者及び医療従事者は保護眼鏡を使用すること。[ジェルコンディショナーが飛び散る可能性があるため]
- 7) ジェルコンディショナーの押し出し操作時に、シリンジプランジャーはゆっくり押すこと。もし動きが悪い場合はジェルコンディショナーが乾燥していることが考えられるため、ジェルコンディショナー ブラシチップを外し、直接シリンジからジェルコンディショナーを押し出してジェルコンディショナーが出ることを確認し、新しいジェルコンディショナー ブラシチップを装着して使用すること。乾燥が認められた場合には、使用を中止して、新しいジェルコンディショナーを使用すること。
- 8) ジェルコンディショナーの水洗・乾燥は充分に行うこと。
- 9) ジェルコンディショナー ブラシチップはディスポーザブルタイプであるため、繰り返し使用しないこと。
- 10) 本材は常温（15～25℃）での使用を基本とすること。グラスボンドカートリッジから押し出される練和されたペーストは、室温が高くなると操作余裕時間は短く、また室温が低いと長くなるので注意すること。[本材の硬化反応は温度の影響を受けるため]
- 11) 初めて、あるいは期間は期間においてご使用になるグラスボンドカートリッジは、ノズル先端に空気が内在する場合があるので、最初の1回目の押し出しで左右のペーストの先端を合わせる。
- 12) 練和されたセメントペーストは、無影灯の光により操作余裕時間が短くなるので、歯科矯正用装置装着の際は、必要に応じて无影灯を減光する、または消すこと。
- 13) 練和されたセメントペーストの硬化状態は、可視光線照射器の照射能力に依存するので、ランプの劣化、ファイバeroッドの汚れに注意すること。
- 14) エアーシリンジ等を使用して歯面の乾燥を行う場合には、事前にオイルミスト等接着阻害物質が噴射されていないことを確認してから使用すること。[接着阻害物質により接着力が低下するため]
- 15) グラスボンドカートリッジ使用時は、カートリッジをCDディスペンサーに装着し、リリースレバーの付け根部分を止まるまで押し込む際、ペーストがノズルから出る場合があるので、キャップは外さずに行うこと。
- 16) グラスボンドカートリッジ使用時は、適切な比率でペーストを採取するために、カートリッジは確実にCDディスペンサーに装着すること。またカートリッジは、最後まで回しきったことを確認すること。

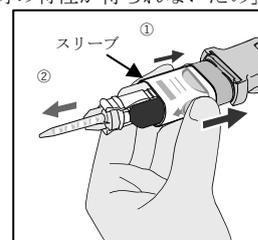


- 17) 練和されたセメントペーストの硬化性に影響することから、オルソリー ミキシングチップSL装着前にすり切り操作を行うなどして両シリンジのペースト位置合わせを行うこと。すり切り操作時は、CDディスペンサーのレバーを戻してしまふと、押し出されたペーストがカートリッジ内部に引き戻されてしまうので、レバーを押したままの状態ですり切ること。*
- 18) セメントペーストの押し出し操作中のオルソリー ミキシングチップSL脱落防止のため、オルソリー ミキシングチップSLは確実に装着すること。またオルソリー ミキシングチップSL装着時は、接合部に手指を挟まないよう注意すること。*
- 19) セメントペーストを急激に押し出すと、オルソリー ミキシングチップSLが脱落する恐れがあるので、押し出し操作はゆっくり行うこと。*

- 20) オルソリー ミキシングチップSLから最初に押し出されるペーストは、片側のペーストが先行して押し出されてくる恐れがあるので、少量練和紙等に取り除いてから使用すること。*
- 21) 練和されたセメントペーストのセメント層が厚くなると、接着強さの低下に繋がる恐れがあることから、ポジショニングの後にインスツルメントなどでしっかり押さえること。
- 22) 練和されたセメントペーストの光照射による初期硬化が完了した後のワイヤー装着は、光照射後5分以降に実施し、弱い矯正力にとどめること。通常の矯正力をかける場合には、ボンディング後24時間経過してから処置すること。
- 23) 光強度の弱い照射器を使用した場合、練和されたセメントペーストが十分な硬化が得られないことがあるので、光強度の強い照射器を使用すること。

【使用上の注意】

- 1) 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）
 - ① 薬剤、食品、アクセサリ、化学物質等に過敏症の既往歴がある患者には、本材及び類似品に対して過敏症歴がなくても問診を行い、慎重に適用すること。
- 2) 重要な基本的注意
 - ① セメントペースト及びジェルコンディショナーに対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は、本材を使用しないこと。また、使用により過敏症状を起こしたときは、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
 - ② 練和されたセメントペーストの未硬化物及びジェルコンディショナーは、直接素手で触れないこと。練和されたセメントペーストの未硬化物及びジェルコンディショナーに触れる場合は、接触による過敏症を防ぐためにプラスチック手袋、ゴム手袋等を着用すること。
 - ③ 練和されたセメントペースト及びジェルコンディショナーが、口腔粘膜、皮膚などに付着しないよう充分注意すること。ラバーダムを使用するなど、口腔粘膜・口唇への接触を防止すること（ラバーダムなどで口腔粘膜・口唇への接触が防止できない部分については、ココアバターなどを塗布することをお勧めします）。口腔粘膜に付着した場合にはすぐに綿球で拭き取り、操作終了後に十分に水洗すること。また皮膚に付着した場合には、すぐに流水で洗浄すること。万一目に入った時は、すぐに多量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けさせること。
 - ④ 光照射の際は保護眼鏡などを使用し、照射光を直視しないこと。[目を痛める恐れがあるため]
 - ⑤ 練和されたセメントペーストの硬化物の除去作業などの際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置、公的機関が許可した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸入しないこと。
 - ⑥ 本材は、【使用目的又は効果】の項に記載の用途以外には使用しないこと。
 - ⑦ 本材は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
 - ⑧ セメントが衣類に付着すると除去が困難なことから、エプロンなどを使用して付着を防止すること。
 - ⑨ グラスボンドカートリッジは、オルソリー ミキシングチップSL装着のまま放置せず、使用後はすぐに確実にキャップをすること。またジェルコンディショナーは、ジェルコンディショナー ブラシチップ装着のまま放置せず、使用後はすぐにウイングキャップに付け替えること。*
 - ⑩ 他の製品と混用しないこと。[本材の特性が得られないため]
 - ⑪ オルソリー ミキシングチップSLは、無理な力や角度で装着、取り外しを行わないこと。スリーブを後方にスライドさせてから（右図①）、オルソリー ミキシングチップSLを取り外すこと（右図②）。*
 - ⑫ グラスボンドカートリッジの着脱は、プッシュボールが完全にディスペンサー内部に戻っていることを確かめてから行うこと。[ディスペンサーを破損する可能性があるため]
 - ⑬ 正しい計量のために、グラスボンドカートリッジのノズルにペーストが付着した場合は、ガーゼなどで拭き取る。



3) 相互作用 (他の医薬品・医療機器等との併用に関すること)

(1) [併用禁忌] (併用しないこと)

①ユージノール系製剤は、本材の硬化・接着を阻害する可能性があるため併用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・直射日光、高温多湿を避けて、室温で保管する。
- ・ガラスボンドカートリッジは、オルソリー ミキシングチップSLを装着したまま保管せず、必ずキャップを装着して保管する。*
- ・ジェルコンディショナーは、ジェルコンディショナー ブラシチップを装着したまま保管せず、必ずウイングキャップを装着して保管する。
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理する。

[有効期限]

本材は、包装に記載の使用期限[※]までに使用する。

※ (例 EXP. 2022-02 は
使用期限 2022年 2月 を示す。)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 : 株式会社ジーシー
主たる設計元 : 株式会社ジーシー

発売元 : 株式会社ジーシーオルソリー
住所 : 〒174-8585
東京都板橋区蓮沼町 76 番 1 号
電話番号 : (お客様窓口) 0120-108-171